

# コンプレックス 滋賀

第22号  
連合滋賀・高退協会報  
発行責任者:吉川浩次  
編集責任者:山崎長栄  
大津市松本2-10-6  
電話:077-523-0500

## ご挨拶

連合滋賀高退協会長

吉川 浩次



新年明けましておめでとうございます。滋賀高退協会の皆様におかれましては、ご家族ご一同様とともによき新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、小泉内閣は退陣しましたが、年金、医療、介護など社会保障制度を改悪し、高負担と給付削減だけが目立った政策展開でした。なかでも高齢者の不満が圧倒的に集中しているのが税制、税金問題であります。さらに追い討ちをかけるように、住民税の非課税措置の廃止や住民税率の一〇%化など、住民税が二倍どころか一〇倍にもなり、納税者に事前に十分な説明もなく、政府与党の一方的な押しを非難せざるを得ません。

他方、労働組合の組織率も、パートや派遣、契約社員といった非正規社員の増加が大きな要因で、六月時点で一八・二%と最低を記録するに至り、連合としても「組織率の低下は労働運動の力量やスタミナ低下をもたらしている」と懸念し、組織拡大の必要性を訴えています。

高齢退職者連合としても、今年度の活動の重点課題に「組織の拡大と強化」を取り上げています。一つには、中央・地方組織相互の組織拡大の努力とあわせ、二〇〇七年問題といわれる団塊世代(総数八、〇五七、〇五四人)の退職の時期を迎え、組織化が極めて重要になり、退職者組織の結成、退職者組織への加盟の働きかけを組合役員にお願いしなければなりません。

二つには、地方退職者連合の地域組織の設置であります。現在、滋賀県には退職者組織の地域組織はありませんが、全国的には二二の地方退職者連合に一七地域組織が設置されています。これは退職後の生活拠点、居住している地域にあり、「認知症サポーター」の取り組みや「子どもの安全を地域で守る運動」など、地域におけるボランティア活動などの会員にとってより身近な地域における活動を強化するためであります。

今年も何かと課題の多い年になりそうです。会員各位の連合滋賀高退協会の活動に引き続き、力強いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後にお互いに高齢者です。自らの生命と健康を大切にしつつ、組織の発展と強化、老後の住み良く明るい社会の実現に向けて頑張りましょう。

## ご挨拶

連合滋賀協会長

中村 憲市



新年あけましておめでとうございます。わが国経済は、景気回復が長期化し、デフレから脱却する動きが強まっていますが、景気回復が長期化し、デフレから脱却する動きが弱まっています。定率減税の全廃をはじめ毎年の社会保険料の引き上げなど自己負担の増加や社会保障の給付削減により家計の負担増は今も続き、高齢者の生活にも不安を与え、圧迫を加えています。昨年は小泉政権が幕を閉じ、安倍政権が誕生し三ヶ月

が過ぎましたが、安倍政権も構造改革路線を継承するとともに経済成長至上主義のもと、企業減税を主導しつつ「労働」や「家計」等を軽視する政治スタンスを引き継ぎ、働く者の可処分所得は相変わらず目減りを続けており、個人消費の低迷を招いています。また、格差社会の深刻化にも有効な手だてを講じられない状況が続いています。このような社会問題化している「格差社会・二極化」に歯止めをかけるため、非典型労働者の権利と処遇の改善などに積極的に取り組んでいく必要があります。さらに「負担増・給付削減」などにピリオドをうち国民が安全かつ安心に暮らせる社会を構築するために果敢に挑戦していかねばなりません。

二〇〇七年のキーワードは「反転」です。当面する二〇〇七春季生活闘争の最大の狙いは、労働分配率を反転させ、付加価値の配分状況の歪みを是正させることです。また、中小労働者の格差問題、パートタイマーや派遣労働者等非典型労働者の処遇改善、過長な長時間労働等の重要な課題にも積極的に取り組みます。さらに、労働契約法やパート労働法の制定問題や労働市場の包括的規制改革を推し進めようとしている動きにも注意深く対応していかねばなりません。

今年には選挙の年です。春には統一地方選が、夏には参議院選が執行されます。参議院選では、これまで連合の仲間として、連合議員団の核となつて共に活動してきた徳永久志予定候補者と八産別八人の比例代表の候補者の必勝をめざし、猪突猛進で取り組んで参ります。

連合は、格差是正と安心と信頼の社会の実現に向け、勤労者、高齢退職者などの皆様との連携による広汎な運動を起し、政治の反転で速やかに政権交替をめざす道筋を確立するためにも、連合滋賀が推薦する予定候補者の完全勝利に向け、連合滋賀の総力をあげ、がんばる所存であります。

高退協のみならず皆様のご理解とご支援を重ねてお願いし、今年一年をすこやかに過ごしていただくことを祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。





# トンチンカンな私の奈良ハイキング

JAM滋賀シニアクラブ 大西 慶一

今年の奈良ハイイクは、私が娘時代の女房と初デートした時以来の四五年ぶりの奈良なので、ある種のときめきを覚えながらJAM仲間の戎崎氏と参加し行動しました。近鉄奈良駅や周辺の様変わりに見とれながら集会後のハイイクに移りました。この時点で他の観光客や修学旅行生の多さに「イヤ」な予感がしました。と申しますのは、今回のハイイクコースには「大仏殿」か「三月堂」のいずれかに入場できる設定になっています。私たちは混雑を避けて大仏殿を選択しました。理由は今回参加の八〇〇名以上の仲間のほとんどが小さな「三月堂」に集中すると考え、大きな大仏殿にしました。これが裏目で大仏殿の内外とも大変な人と騒音で、二人は早々に外に出ました。時間が余っていますので、私は「兎と亀」の計算をしまして、暇つぶしに参道の土産店をひやかすうちに、「コーヒー」の香りに誘われ……

「しまった」と、三月堂付近で滋賀の団に追いつこうと、老朽化した「三月堂近道」の案内板を頼りに進みましたが、細い細い山道に入り込み、やつのことでも来てみれば、めざす人影はなく、若草山から奈良公園に出て、そこで追うのをあきらめ弁当にしました。

その後、春日大社から、想い出の猿沢の池を見て、近鉄電車で京都に帰りましたが、乗った電車が「国際会館ゆき」で、着いたところが「地下鉄京都駅」で、地下鉄運賃が不足だと差額をとられ、(地上階の近鉄京都駅なら不足金は生じなかった) いやはや「トンチンカン」ながら楽しいハイキングでした。

# 奈良公園ハイキングに参加して

滋賀通友会 湖南支部 塚本 光男

一〇月二五日(水)連合高齢退職者連絡協議会主催のハイキングに通友会から五名が参加。晴天のもと午前一〇時に集合、近畿各地区から約九〇〇名が参加。奈良公園一帯を散策、当日は、平日にもかかわらず観光客の多さに驚き、さらに大仏殿の大きさに驚き何千年か昔の人の偉大さに感動しました。

途中から持病の坐骨神経痛が出て、三分の一くらいのところであえなくダウン。皆についていけずやむなく集合場所に引き返して仲間を待つことにしました。本当に残念でした。

でも、秋晴れの一日、楽しい一日を過ごすことができました。次回はこのようなことがないようしっかりと治療して参加したいと思っています。



# 秋のハイキングin奈良に参加して

滋賀県退職教職員協議会 樋上 敬雄

天候に恵まれ奈良公園の木々が少し色づき始めた十月二十五日わが滋退教から四名奈良公園での高退協主催秋のハイキングに参加。近畿各地から参加者約千名。主催者挨拶などに続いて恒例の八十歳以上の参加者の紹介、なんと九十歳近いはつらつとした健康そのものの勇姿に万雷の拍手、やはり歩くことの意義を感じさせた一コマでした。開会式後、東大寺の大仏殿に向かって行動開始。ちようど小中学校の校外学習のシーズンで大賑わい、集合写真を撮る担任の先生に代わってシャッターを押してあげる会員のほほえましい姿も……。色づき始めた銀杏のそばを通過して正倉院の校倉造を見学、ついで二月堂・三月堂への小径をのぼる頃にはじんわりと汗：赤い毛氈に惹かれて小休止、蕨もちを味わう。これも奈良の風情。三月堂(釈迦堂)のすばらしい仏像を拝観し奈良の古い歴史を感じるひと時を過ごす。若草山での昼食の後、万灯籠で名高い朱塗りの春日大社の神域に入り深呼吸。石段をのぼると志賀直哉ゆかりの邸に出た……(略)。

秋のハイキングは近畿の高退協の連帯と個々人の健康増進と意義ある行事であることから今後滋退協からの参加者が増えることを期待したい。…お世話いただいた皆さんに感謝



# 早期発見の大切さ!

関電労組OB会 伊藤 茂

私は、昨年の一〇月に早期胃癌で「内視鏡的粘膜下層切開・剥離術」をして、悪性ポリープを除去しました。お陰様でその後は順調に回復して、現在は元氣を取り戻し早くわかつてよかったです。お陰様でその後は順調に回復して、現在は元氣を取り戻し早くわかつてよかったです。

その経緯は、七月中旬に糖尿病の定期診察時に、猛暑続きなのか食欲不振と腹に少し違和感があると医師に相談し、その後、二度の胃カメラの検査で九月中旬に「早期胃癌」と言われ、現状であれば内視鏡(胃カメラ)を用いて病変部を高周波電流で剥離できるとアドバイスをされたが、悪性ポリープの剥離術は、一時間程度で局所麻酔の關係から約一ヶ月係りました。悪性ポリープの剥離術は、一時間程度で局所麻酔の關係で苦痛は殆どなく、無事終わりました。それよりも、剥離術前後の絶食が長く低血糖症状管理の方が苦痛でした。今回は自覚症状が殆どなくちよつとした相談で早期発見の大切さを痛感し、退院後は家族にも健康と定期検査の大切さを話し合っており。今一つは「がん保険」の加入ですが、昭和五〇年代に關係係保険会社の先輩から勧誘され義理に契約したもので、当時は、ガン入院費は高つく時代であったと思います。今回は、継続して入院費三割負担にも大いに助かりました。

昨年一〇月開催の「奈良公園ハイキング」には、残念ながら不参加でしたが、今後は、健康に留意し、参加して旧友の皆さんとの再会を楽しみにしております。